

第2回 準備会の挨拶等

1 会長挨拶（中野平中学校長 小山正博委員）

○中学校としての課題として

- ①保護者の経済格差への配慮（地域移行により保護者負担が増えると思われる）。
- ②平日の活動を実施する場合の生徒の移動手段についてどうするか。
- ③教員の位置づけ。（指導を行い場合の兼職・兼業。平日に部活動を行う場合の勤務条件等）
- ④中学校体育連盟がどうなるか。

2 北信教育事務所生涯学習課指導主事 土橋裕樹様

○地域移行にかかわる国・県・地域の情報を各教育事務所で共有しながら進めている。大事にしたい視点として、

- ①子どもを中心に考えること
- ②3年後（現在の小4の児童が中学校入学時）の姿を想像して移行を進めること。
- ③継続するための環境整備も考えること。

○県民新聞によると、中野市の現15歳人口は382人、0歳は216人とのこと。人口減少・少子化の中で、10年、20年後の子どもたちの活動環境をどう整えていくが必要となる。また、子どもから高齢者までのスポーツ・文化芸術環境を整えていくことも重要となるだろう。地域の中で共通理解を図ってほしい。

3 委員からの質問

○委任指導について

- ・委任指導の可否については、誰がどこでどういう経緯で決めているのか。
- ・今後どのように決めていくのか。

⇒委任指導については、市内の中学校では一昨年度から始まっている。

顧問が校長先生へ相談をし、校長先生同士で確認をし、市町村をまたぐ場合は、市町村教委
育委員会で、許可を出す。

市内についても、校長先生へ確認を行っている。

来年度は、地域移行に向けて少し広げていきたい。

校長先生にお諮りして、委任指導が可能なものは認めていきたいと考えている。

○先生方の意識

- ・先生方の中にもやりたい人がいるとのことであるが、先生方の手当てについて、何か考えているのか。

⇒まだ、何も決まっていない。

グループの特徴があるため、グループごとでの意見交換で、様々な意見を出してほしい。

地域クラブが立ち上がったら、土日についてはやりたいという教職員もいる。